

海況・魚群速報(別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果)

平成23年11月10日
大分県農林水産研究指導センター
水産研究部

県水産研究部の調査船「豊洋」による別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果は、次のとおりである。

調査日：11月7-9日

【海況】

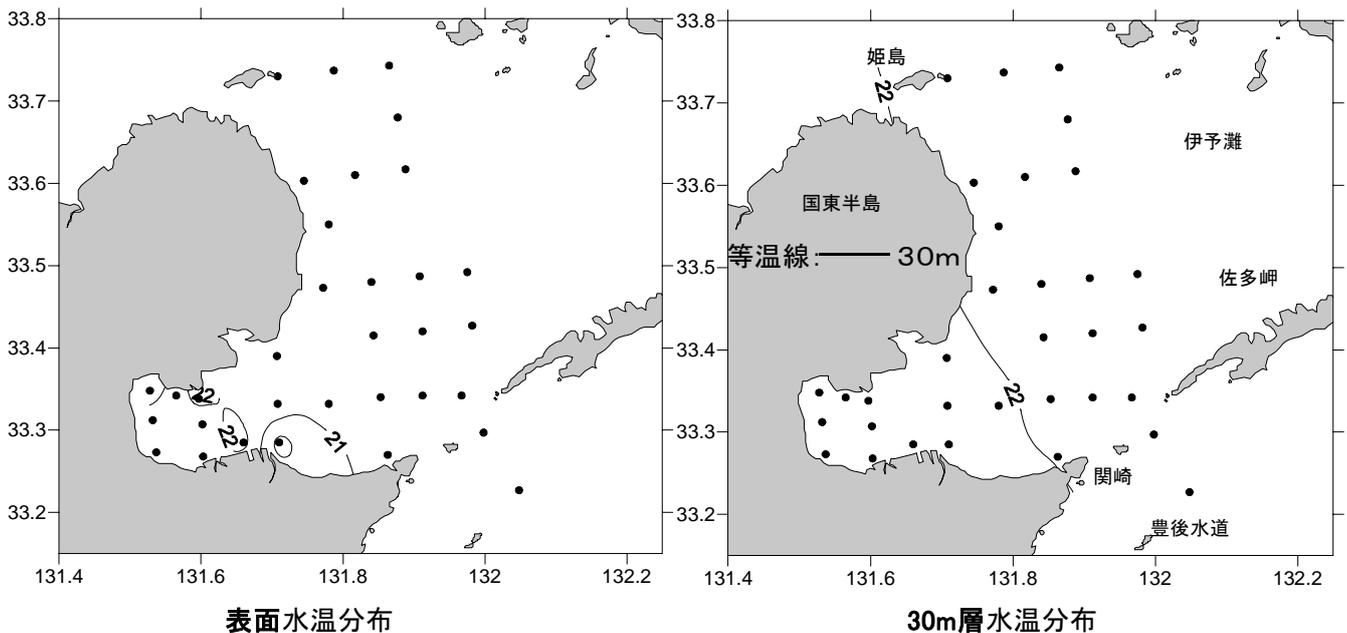
(別府湾の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
別府湾	表面	21.6	-1.3	+1.1	+0.7
	底層(-30m)	22.3	-1.5	+1.2	+1.1

(国東半島沖合の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
国東半島 沖合	表面	21.2	-1.9	+1.2	+0.5
	底層(-30m)	21.9	-1.5	+1.0	+1.1

(水温分布)



「海況概要」

別府湾・国東半島沖合の表層水温は19～22℃台を示した。
別府湾では、平年より0.7℃高め、国東半島沖合では平年より0.5℃高めであった。
水深30m層は21～22℃台を示し、別府湾では平年より1.1℃高め、
国東半島沖合では、平年より1.1℃高めであった。

(黒潮情報：海上保安庁)

11月8日の観測によると、九州東岸沖の黒潮内水温は25℃を示し、前年並み。
黒潮は都井岬は著しく離岸、足摺岬沖でやや離岸している模様。

※別府湾・伊予灘において魚群反応はありませんでした。